

マラウイ月報(2014年9月)

主な出来事

【内政】

- マラウイ政府, 南ア・パラマウント社との武器購入契約を取り消し
- バンダ前大統領, 2019年大統領選挙出馬への意欲表明

【外政】

- ムタリカ大統領, 第69回国連総会のため訪米
- チリマ副大統領, 農業施設等視察のためイスラエル訪問

【経済】

- マラウイ投資貿易センター(MITC)のワンストップサービスセンターが運営開始
- 2014/15年度国家予算案が国会通過

【内政】

- ・ **ゲートルード大統領夫人, 国内の清掃のための基金, “Beautify Malawi Trust”を設立**
9月3日, ゲートルード大統領夫人は, マラウイ国内の清掃活動のための基金, “Beautify Malawi Trust (BEAM)”を設立することを発表した。また, BEAMの活動のために, アメリカの人道支援団体“Delivering Hope International”から小型飛行機が寄付された。(9月4日, ネーション紙3面, 29日ネーション紙,3面)
- ・ **マラウイ政府, 南ア・パラマウント社との武器購入契約を取り消し**
9月4日, ゴンドウェ財務経済計画大臣は, ウィークエンド・ネーション紙のインタビューに対し, マラウイ政府は, バンダ前政権下で結ばれた南ア・パラマウント社との約1億4500万米ドル相当の武器購入に関する契約を取り消した旨述べた。(9月6日, ウィークエンド・ネーション紙1～3面他)
- ・ **新財務次官の任命**
ムタリカ大統領はクムウエンベ財務次官に異動を命じ, 新たにマンガニ氏を財務次官として任命した。マンガニ新財務次官は, ヨーク大学で経済学修士号, ケープタウン大学で博士号を取得し, 1994年よりマラウイ大学チャンセラ一校にて経済学の教授として勤務した経歴を持つが, 公共財政の実務経験は少ない。(9月7日, ネーション・オン・サンデー紙1～2面)
- ・ **バンダ前大統領, 2019年大統領選挙への意欲表明**
9月13日付ネーション紙に掲載のインタビューにて, バンダ前大統領は2019年の大統領選挙に出馬する意欲があることを明らかにした。バンダ前大統領は人民党(PP)の党首として, 2017年の党代表選挙に出馬するのは当然であるとし, 党首に再選されれば, 2019年大統領選挙に出馬することになるだろうと述べた。(9月13日, ウィークエンド・ネーション紙1～2面)

【外政】

- ・ **チリマ副大統領、農業施設視察等のためイスラエル訪問**

8月31～9月7日、チリマ副大統領は、イスラエルおよび南アを訪問した。チリマ副大統領はイスラエルでリブリン同国大統領と会談を行った他、テルアビブ大学卒業式に参加、また、灌漑施設等農業技術の視察を行った。また、同副大統領は、帰国の際に南アに立ち寄り、水開発やエネルギー分野の投資家と協議を行った。（9月8日、ネーション紙4面、デイリータイムズ紙2面）

- ・ **中国による2014年アフリカ女性セミナーの開催**

中国は、中国とアフリカの関係強化及び女性の地位向上を目的として、2014年アフリカ女性セミナーを開催し、マラウイを含むアフリカ9カ国からの参加者が参加した。（9月5日、ネーション紙3面）

- ・ **チリマ副大統領、SADCサミットに参加**

9月15日、チリマ副大統領はSADCダブルトロイカ+2サミット参加のため南アを訪問、同会合でチリマ副大統領はレソトの安定と治安を速やかに回復するべく協力すること等に合意した。（9月16日、マラウイ・ニュース・エージェンシー）

- ・ **ムタリカ大統領、第69回国連総会参加のため訪米**

9月15～30日、ムタリカ大統領は国連総会参加のため米国を訪問した。ムタリカ大統領は同訪問中、潘基文国連事務総長、ケニヤッタ・ケニア大統領、ユニバーサル・リーフ・タバコ社CEO等と個別に会談を行った他、国連気候サミット、国連世界教育特使及びJICAを含むドナーとの協議、アフリカ企業評議会ビジネスランチ等のサイドライン行事に参加した。（10月6日、マラウイ政府報道発表）

【経済】

- ・ **変動相場制の継続**

ゴンドウェ財務経済計画大臣は、新政権はクワチャの変動相場制を継続していく旨発表し、変動相場制と国家輸出戦略により輸出を拡大し、経常収支の改善を目指す述べた。（9月3日、デイリータイムズ紙1面）

- ・ **2014／15年度国家予算**

9月2日、ゴンドウェ財務経済計画大臣は7428億クワチャの国家予算案（今年度の予算案には歳入として一般財政支援が含まれていない）を国会に提出した。この予算案に対し、

変更が加えられた後の9月26日、7370億クワチャの国家予算案が国会を通過した。主な変更点として、国会及び国家会計局に対する予算配分が増え、地方政府金融委員会への配分が削減された。(9月3日、ネーション紙1面及びデیلیータイムズ紙1面、9月27日、ウィークエンドネーション紙1面)

- ・ **食糧不足予測**

マラウイ脆弱性評価委員会は、今年19県にて64.9万人が食糧不足に陥るとの予測を発表した。この食糧不足への対応として、当国は15,830トン(17億クワチャ以上)の食糧援助が必要となる。食糧不足が予想される県は、カロンガ、ムジンバ、ルンピ、デッサ、ドーワ、ムチンジ、リロングウェ、ンチェウ、サリマ、バラカ、ブランタイヤ、チクワワ、パロンベ、マチンガ、ムランジェ、ムワンザ、ネノ、ンサンジェ、ゾンバである。(9月5日、デیلیータイムズ紙3面)

- ・ **マラウイ開発銀行の設立計画**

2014/15年度予算案演説においてマラウイ開発銀行設立についての言及がなされ、経済界からは、大規模な融資を提供することができる機関となり得るとして歓迎された。この計画は前DPP政権時代にアイデアが生まれてから実現に長時間掛かっているが、現段階の進捗としては、中央銀行によって事業化調査が実施されたところ。この事業化調査には、金融部門への技術支援の一環として世銀から資金援助が行われ、また南アフリカ開発銀行から技術支援が行われた。(9月6日、ウィークエンドネーション紙9面、9月8日デیلیータイムズ紙9面)

- ・ **世銀支援による空中物理探査事業の進捗**

8月4日、天然資源・エネルギー・鉱業省は、世銀支援による鉱業ガバナンス及び成長支援事業のもと昨年より行われていた空中物理探査を完了した。同省によれば、探査事業では、原データの収集、地質学者への研修、機材等の調達を行うことができ、成功を収めている。しかし、今後データ加工及び地球物理学地図の作成等の作業が残っており、地球物理学地図については2015年1月に提出される予定。(9月10日、デیلیータイムズ紙3面)

- ・ **ンサンジェ内陸港計画**

チルジ運輸・公共事業次官は、ンサンジェ内陸港の開発に関し、モザンビーク及びザンビアとMOUを締結して合意したと述べた。政府は来年4月までに完成予定である事業化調査の

結果を待っているとのこと。事業化調査内容には、環境への影響及び他の輸送手段と比較した経済効果についての調査が含まれている。(9月12日、ネーション紙3面)

- ・ **ブラザー工業製品の当地販売開始**

9月11日、日本のブラザー工業が当地エレクトカード・システム社とパートナー契約を結び、当地での製品販売を開始した。(9月16日、デイリータイムズ紙10面)

- ・ **投資に関するワンストップサービスセンターの運営開始**

9月1日、ムタリカ大統領の指示のもと、マラウイ投資貿易センター(MITC)内にワンストップサービスセンターが設立され、運営を開始した。ワンストップサービスセンターは、投資証明書(Investment Certification)、商業居住許可(Business Residence Permits)、一時雇用許可(Temporary Employment Permits)、投資土地配分(Investment Land Allotment)、財政的インセンティブ(Fiscal Incentives)等、投資許可や他の登録手続きを簡素化し、マラウイを魅力的な投資先とするもの。これにより、手続きに要する日数は平均5日へと大幅に削減される。(9月17日、ネーション紙45面)

- ・ **経常収支の赤字拡大**

2013年の貿易・サービス収支の赤字は5039億クワチャへと拡大した(2012年の2685億の赤字より88%の増加となった)。これは、輸出額に比べて輸入額の増加幅が多かったため。経常収支は4473億クワチャの赤字へと赤字幅の拡大が見積もられている(2012年は2089億クワチャの赤字)。(9月19日、デイリータイムズ紙3面)

- ・ **日本政府による支援**

9月18日、西岡駐マラウイ日本国大使は、第2次中等学校改善計画にて完成した中等学校の引渡を行った。引き渡された施設には、教室棟、管理棟、厨房棟、図書棟、女子寮、教員住宅等が含まれる。また、西岡大使は9月22日、1500万クワチャのムワンザ県病院整備計画の贈与契約、23日には4450万クワチャのマンガチ県安全な水供給計画の贈与契約に署名した。(9月22日、デイリータイムズ紙2面、9月23日、ネーション紙3面、9月25日、デイリータイムズ紙2面)

- ・ **今年の葉タバコ取引終了**

9月12日、今年の葉タバコ取引が終了し、タバコ統制委員会は取引総額を計算中。(当館注:10月、タバコ統制委員会による計算が終了し、取引総額は3億6150万米ドル(19.1万トン)と発表された。昨年の取引総額は3億6183万米ドルであり、取引総額は昨年とほぼ変わりはない。)(9月22日、デイリータイムズ紙10面)

- ・ **職業訓練校設立への支援予定**

ムタリカ大統領は、国連総会にて米国訪問中、米国のチャリティー団体であるビルディング・トゥモローと、2月からの職業訓練校建設への支援を取り付けた。両者は10月に支援内容詳細を含めたMOUを締結予定。(9月23日、ネーション紙12面)

- ・ **効果的な開発協力に関するグローバル・パートナーシップ**

効果的な開発協力に関するグローバル・パートナーシップに関し、マラウイはメキシコ、オランダと共同で議長を務める。マラウイは被援助国を代表して選出された。(9月24日、ネーション紙24面)

- ・ **ソングウェにおけるレアアース探査事業の進捗**

9月23日、ソングウェにてレアアース探査中のムカンゴ・リソース社は、ソングウェ・レアアース事業のプレ事業化調査の結果を発表し、税金を控除した後の純利益として年間2.93億米ドルの純利益が望めるとした。ダウェス・ムカンゴ・リソース社CEOは、利益が大きく、設備投資が比較的少なくて済むことを喜んでいるとした。(9月25日、デイリータイムズ紙9面)

- ・ **政府によるゼロクーポン債発行計画**

政府は、民間部門に対して1580億クワチャ(約400億円)の未払い金を抱えているが、現状では返済の余裕がないので、それに代わるものとして、ゼロクーポン債の発行を計画している。これにより、民間部門は運転資金を得られるようになり、2014/15年度予算の健全な執行にも繋がる。マラウイ商工会議所(MCCCI)及びマラウイ銀行協会は、これを経済回復への最良の方法であると評価している。(9月29日、ネーション紙9面)